

## 肝炎ウイルス検査記録カードの配布状況について

平成 27 年 3 月 9 日  
広島県健康福祉局薬務課

## 1 概要

厚生労働省が実施した「平成 23 年度肝炎検査受検状況実態把握事業」により、手術や検査前に肝炎ウイルス検査を受けていると考えられるが、自身では認識していない「非認識受検者」が B 型肝炎ウイルス検査については 39.8%、C 型肝炎ウイルス検査については 30.4%と多く存在していることが判明した。

また、平成 24 年度に厚生労働省研究班が実施した「肝炎ウイルス検査後の意識動向調査」においては、肝炎ウイルス検査を受けた者のうち、12.6%の者は検査を受けたことを認識していなかった。

肝炎ウイルスは日常生活で感染することはまれであり、何度も受検する必要はないことから、平成 26 年度に広島県地域保健対策協議会において、「非認識受検者」を含めた肝炎ウイルス検査受検者に受検したこと周知するため、「肝炎ウイルス検査記録カード」（以下「記録カード」という。）を 70,000 部作成し、受検者に配布することとした。

## 2 県の配布状況

市町・県保健所へは平成 25 年度に平成 26 年度配布分も併せて送付した。

	平成 25 年度	平成 26 年度
県医師会及び地区医師会	17,170 部	—
医療機関	12,370 部	480 部
市町	16,620 部	2,290 部
県保健所（支所）	140 部	70 部
協会けんぽ	0 部	10,000 部
その他検診機関等	50 部	2,200 部
合計	46,350 部	15,040 部

## 3 全国健康保険協会広島支部の配布状況

全国健康保険協会広島支部（以下「協会けんぽ」という。）では、今年度、生活習慣病予防健診と同時に肝炎ウイルス検査を受けた者に記録カードを配布している。

また、平成 22 年度から平成 25 年度の受検者約 15,600 名に別紙により記録カードを郵送し、過去に受検したことを周知した。

過去の受検者に記録カードを送付後、受検時期、検査結果等について多くの問い合わせがあった。

## 4 今後の方針

協会けんぽの取組により、過去の受検者のうち、多くの者が検査を受けたことを認識していないことが再確認された。

記録カードは検査を受けたことを認識させる有効な手段と考えられるため、来年度も継続して受検時に配布する。